

# 探究通信第3号 個人探究と大学生サポーター

令和6年3月25日 都立小金井北高校 探究委員会

## 2年次の個人探究

2年次から始まる個人探究では、生徒自ら設定したテーマと問いについて、論文を作成します。現在1年生の44期生から始まった活動ですが、3学期の主な目標は個人探究のテーマ設定です。

## 途中経過の発表（2月7日）

2月7日（水）、大学生12名が1年生の探究活動に参加してくれました。部活動を除き、このように現役の大学生が来校し、在校生と共に活動することは珍しいと言えます。

当日、1年生は現在考えている個人探究のテーマや問いについて発表し、他の生徒との対話を通して、自らのテーマや問いを自省し、次の個人探究につなげるという活動を行いました。そのグループワークに大学生が参加し、アドバイスや質問を生徒にすることで、個人探究の見直しを図るのが目的です。大学生からは「機器がないので調べることができないから、探究に適さないよ」というようなテーマの絞り込みや、「探究の基本は、比べること」など全般的な研究手法についてのアドバイスを受けている生徒もいました。

## 個人探究の計画は発表（3月21、22日）

3月21日には各クラス内にて、個人探究の計画の発表会が行われました。全員がパワーポイントを作成しグループ内にて、生徒それぞれのテーマや問いが発表されました。その後、各グループの代表7名が登壇し、クラス内での発表。代表7名の問いの深さやテーマのオリジナリティに驚いている生徒も見受けられました。この日は大学生サポーターも来校し、代表7名に質問やコメントだけではなく、クラス全員への総評もいただきました。本校卒業生のサポーターからも「このような探究活動は、大学で必要とされるスキルを育成できる」という主旨のコメントをいただきました。



本校卒業生の大学生サポーターと1年生

翌22日は、各クラスから選出された代表者6名の発表が体育館で行われました。6名のテーマは；

「読書における電子書籍と紙書籍」 / 「ディズニー映画の心理操作」 / 「ウルトラシリーズの視聴率と商品売り上げ」 / 「社会的観点から見る「ドラえもん」」 / 「幼児の認識しやすい色」 / 「挿絵について」

## 発表を聞いた生徒のコメント

- 好きなことから問いを見つけている人が多くて良いと思った。調査方法を細かく考えている人も多くて円滑に調査が進みそうだと感じた。調べる対象の範囲も重要だと思った。
- 身近なことから探究の題材を見つけていて全て興味が沸くものだった
- それぞれが違った視点からテーマを設定していて面白かった。また、先行研究や研究手法を詳しくまとめていてとても説得性が上がり良いと思った。
- 全員、普通に生活していてあまり気にしないことや、とても興味深いことなどをテーマにしている、とても面白かった

などの声がありました。2年生からはいよいよ個人探究が始まります！